

市長から市民のみなさんへ

62

山陽小野田市長 白井 博文

本市が教育特区に認定されました

昨年度から市内の全小・中学校ではじまった「生活改善・学力向上プロジェクト」は、「百ます計算」でおなじみの陰山英男氏を総合指導に招き、学校では音読・計算を中心とした反復学習で脳の活性化を、家庭では「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に規則正しい生活を継続することによりすべての子どもに「生きる力」を植え付けていくことを目指す、まさに全市あげての一大プロジェクトです。一方で、学習指導要領の制約の中で授業時間のやり繰りに苦心しながら行わざるをえないという実情もありましたが、この度、かねて申請していた構造改革特別区域の教育特区として認定されたことにより、規制緩和

が図られ、「総合基礎科」の新設、幼稚園・保育園へのプロジェクト導入など、本市独自のカリキュラムを組むことが可能となりました。（下記記事をご覧ください。）

実施は平成20年度からになりますが、「自分の将来を自分で切り開いていける子どもの育成」という義務教育の重責を今まで以上に、しっかりと果たすることができるのではないかと期待を寄せているところです。また、現在、さかんに「教育改革」の必要性が言われる最中での認定は全国レベルでも注目を浴びることでしょう。

すべての子どもが持っている無限の可能性を開花させたいという一心で取り組んできた本市のプロジェクトに対し、国が“特区認定”という形で、その成果にお墨付きを与えてくれました。これもひとえに本市の教育関係者のみなさん、保護者のみなさん、そして市民のみなさんのご協力があったからこそ実現したものです。引き続き、本市の教育行政に対するご理解とご支援をよろしくお願いします。

対話の日

【いずれの会場も19:00から】



12月13日(木) 生田公会堂

12月27日(木) 笹尾自治会館

1月10日(木) 上市公会堂

※山陽地区は河合病院事業管理者が同席します。

速報!

11月22日に内閣府から認定を受けました

「幼・保・小・中 生活改善・知能向上教育特区」



▲モジュール授業のようす（中央は陰山英男氏）

今回の特区申請は、昨年度から市内全小・中学校で取り組んでいる「生活改善・学力向上プロジェクト」に幼稚園、保育園を加え、幼児期から義務教育終了までの一環した“人を育てる”体制づくりを目的に行ったものです。認定による規制緩和で、短時間集中型の反復学習を計画的、継続的にすすめるための「総合基礎科」の新設などが可能となり、「脳を鍛え、心を鍛える」教育の実現により、次世代を担う子どもたちの「生きる力」の育成に本格的に取り組んでいきます。

【問い合わせ先】教育政策室 ☎ 82-1208

構造改革特区

特定の地域にだけ全国一律の規制とは違う制度を認め、その成功事例によって全国的な規制改革に波及させながら全国を活性化させようとするもので、山陽小野田市が認定された今回の第15次までで誕生した特区の累計は984件になります。